

ラオスコffeeサプライチェーンにおける人権影響評価

エグゼクティブサマリー

キリングroupは、2018年2月に制定したキリングroup人権方針に沿って、キリングroupの事業と関係する人権への負の影響を特定し、予防、軽減する取組みを進めてまいりました。その活動の一環として、人権方針策定時のプライオリティ選定に基づき、ラオスコffeeサプライチェーンの人権影響評価を2018年11月に実施しました。当人権影響評価については、高い専門性とネットワークを持つ一次サプライヤーの協力のもと、キリングgroup関係部門（調達、人事、CSV）が連携し実行しました。

調査の実施にあたっては、外部機関によるラオスの人権状況レポートやラオスコffeeサプライチェーンの現状をふまえて、特に課題が想定された（1）労働安全衛生、（2）労働時間（労働者の権利）、（3）強制労働、（4）児童労働、（5）周辺コミュニティの各人権項目について重点的に確認を行いました。

当調査の結果、coffeeの加工工程において、品質、環境、そして従業員や地域コミュニティを尊重した事業運営がなされていることが確認されました。

今後も、一次サプライヤーを通じたコミュニケーション、働き掛けを行い、サプライチェーン全体で協力しながら人権尊重取組みの推進に努めてまいります。

参考：ラオス産coffee豆

coffeeはラオスの主要産業のひとつであり、農産物の中では最大の輸出額を占めています¹。1900年代にラオス南部のポロベン高原での栽培がはじまって以来、同地でラオスのアラビカ種coffeeの多くが生産されています²。

歴史的に生産性の高いロブスタ種の栽培が多くを占めていましたが、近年はより付加価値の高いアラビカ種の生産をてがける農家が増えています。加えてcoffee買付業者による支援やcoffee農家の研究努力により、質の高いcoffee豆の栽培が実現しており、特にアラビカ種は近年輸出を増やしています。

キリングgroupにおいて、coffee商品の様々な個性を体現するために、主原料となるcoffee豆にはバラエティが必要です。そのため、世界各地の産地からこだわりぬいた質の高い豆を仕入れることは重要なテーマとなっています。



ポロベン高原の玄関口、パクセーの街並み。メコン川が流れ、遠方に高原を望む

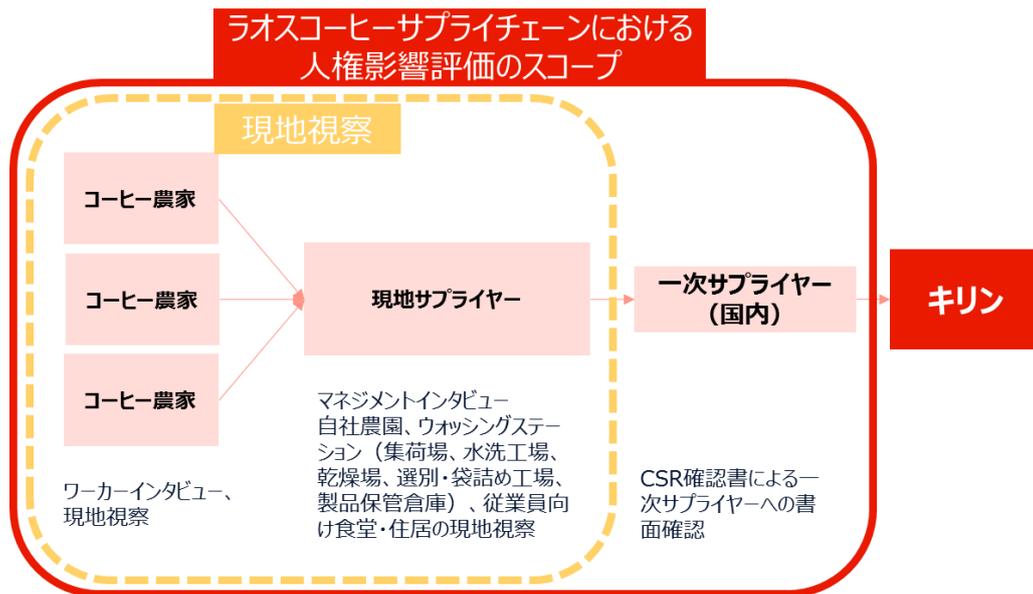
¹ <http://www.laocoffeeassociation.org/index.php/en/about-lao-coffee/coffee-exports>

² <http://www.laocoffeeassociation.org/index.php/en/about-lao-coffee/production-areas>

HRIA スコープと手法

キリングroupは、キリングroup人権方針に謳っている通り、私たちの研究・開発、原材料の調達から、商品・サービスの消費・利用を含むバリューチェーンの各プロセスにおいて、私たちのビジネスが、直接または間接的に人権に影響を及ぼす可能性があることを理解しています。中でも特に人権への負の影響のリスクが高い分野を特定し、人権デューデリジェンスにおいて優先的に取り上げています³。

今回の人権影響評価は、キリングgroup人権方針、およびキリングgroup調達基本方針⁴に基づく活動の一環として実施しました。範囲については、人権デューデリジェンスのプライオリティの考えに基づき、ラオスコヒーサプライチェーンを対象としています。



人権影響評価の準備の一環として、高い専門性とネットワークを持ち、我々のビジネスパートナーである一次サプライヤーとの事前ミーティングを実施し、目的、プロセスおよびスコープについて説明し、実行に向けた調整を行いました。またその中で、人権への配慮を含む「サプライヤーCSRガイドライン」⁵の理解と遵守をキリングgroupの一次サプライヤーへ要請し、さらに上流のサプライヤーも本取組みに包含していくため、一次サプライヤーに上流サプライヤーへの働きかけをお願いしています。現地調査の前には、一次サプライヤーとラオスのコーヒー豆現地サプライヤーとの間でコミュニケーションをとり、キリングgroupの人権尊重に対するコミットメントやCSR調達の考え方、人権デューデリジェンスについての理解と協力を促しています。

現在、キリングgroupにおけるラオスコヒー豆は、今回評価を行った現地サプライヤーからほぼ全量を調達しています。（2019年8月時点）

サプライヤーCSRガイドライン	行動規範
1. 体制・コンプライアンス・リスクマネジメント	
2. 人権への配慮	
3. 環境への配慮	
4. 安全・安心	
5. アルコール関連問題への取り組み	
6. 社会貢献	

³ https://www.kirinholdings.co.jp/csv/human_rights/duediligence.html

⁴ <https://www.kirinholdings.co.jp/csv/procurement/csr.html>

⁵ https://www.kirinholdings.co.jp/csv/procurement/pdf/csr_guideline.pdf

主な発見事項と対応

調査の実施にあたっては、外部機関によるラオスの人権状況やラオスコffeeサプライチェーンの状況に関する分析情報をふまえて、特に課題が想定された次の5分野－労働安全衛生、労働時間（労働者の権利）、強制労働、児童労働、周辺コミュニティ、について重点的に確認を行いました。

今回の調査で訪問した現地サプライヤーのマネジメント層へのインタビュー、および現地視察を通じて、トップやマネジメント層が社会貢献の理念を共有し、積極的に実践していることを確認しました。現地の責任ある企業として、社会貢献を果たしていかなければという意識が高く、その結果として環境への取り組みや、農家、作業員の生活を重要視した数々の施策が実行されています。



現地サプライヤーへのインタビュー

一般的にコーヒー農家は収穫期の10月から12月頃が現金収入のある時期であり、特に収穫期前の数か月がもっとも貧窮する時期です。この状況に対して、現金が入ってくる収穫期まで生活をつなげるよう、当サプライヤーは希望する農家に対して米やガソリンなどといった現物を支給しています。そうすることで、農家が生活に必要な物資を得て、現金の不足する時期をしのごくできるようにしています。加えて、苗の配布や品質の指導、健康診断の無償提供を行うなど、事業を支えているコーヒー農家に対して手厚い支援を行っています。

コーヒーの加工工程においても、品質、環境、そして従業員の働きやすさを重要視した事例が確認されました。各人権項目についての発見事項は以下の通りです。

項目	発見事項と対応	
	農家	現地サプライヤー
労働安全衛生	<ul style="list-style-type: none"> コーヒーチェリーの摘み取り作業員は、長袖・長ズボン・帽子・靴を着用し安全に配慮して作業をしていた 	<ul style="list-style-type: none"> 水洗工場・ドライ精選工場ともに衛生管理状況は良好で、作業環境についても概ね安全配慮がなされていた コーヒーチェリーの水洗工程において、改善が望ましいと思われる作業が見られた。安全管理・事故防止の観点から、安全な作業が行える作業環境・手順への変更を推奨し、現地にて前向きに取り組んでいただくこととなった

労働者の権利	<ul style="list-style-type: none"> 労働時間、賃金、差別・ハラスメントの有無についてワーカーへヒアリングした結果、問題はみられなかった 	<ul style="list-style-type: none"> 事前の CSR 確認書にて、遵守がなされていることを確認した 福利厚生の一環として、工場の従業員へ無償で提供する寮、食堂がある
強制労働	<ul style="list-style-type: none"> 特記事項なし 	<ul style="list-style-type: none"> 事前の CSR 確認書にて、強制労働事案が発生しないようマネジメント層が監督していることを確認した
児童労働	<ul style="list-style-type: none"> 現地確認、およびワーカーへのヒアリングの結果、ラオスの法定最低就業年齢を下回る児童の就業は確認されなかった 	<ul style="list-style-type: none"> 事前の CSR 確認書およびマネジメント層へのヒアリングにおいて、ラオスの法定最低就業年齢を下回る児童の就労は確認されなかった
周辺コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> 特記事項なし 	<ul style="list-style-type: none"> チェリー水洗における排水の再利用、コーヒー豆のほぼ全量を天日乾燥とするなど、環境負荷の少ない方法がとられている。 2018年7月に発生した近隣ダム決壊による災害発生時、コーヒー豆の集荷場を避難所として開放し、食料の提供、赤十字や NGO と連携した医療支援を行った



コーヒーチェリーの受入



食堂



コーヒーチェリーの摘み取り作業

今後に向けて

今後も、一次サプライヤーを通じたコミュニケーション、働き掛けを通じて、サプライチェーン全体で協力しながら人権尊重取り組みの推進に努めてまいります。

以上